国立大学生の授業料減免予算が削減

学費免除の存続を求める

このままでは……

全国の国立大学で**2.4**万人

**緊 急 署 名**

〇〇大学で

**〇〇**人

**授業料減免額が**

**削減されます！**

○大学長宛の

請願署名にご協力ください

裏面の署名欄に署名をしたうえで、下記の日時・場所でFREE○大のメンバーにお渡しください。

日時：

場所：

第一次締切○月○日

FREEとは？

高等教育無償化プロジェクト（FREE）は、昨年9月に発足した大学生・専門学校生・院生のアドボカシー・グループです。学費の高さに注目し、学生の声をあつめて、社会や政府に訴えることで、日本の社会問題となっている学費奨学金問題を、学生の力で解決しようとしています。具体的には、学費や奨学金に関するアンケートをあつめており、現在は8000人以上から、○大は○人から回答を得て、それをマスコミに発表し、朝日・毎日・東京・読売新聞やNHKで取り上げられています。

↑からも署名できます

署名フォーム

QRコード

（学長の名前）　（大学の名前）大学学長

**授業料減免の水準を維持することと**

**学費値上げを行わないことを求める署名**

請願項目

1. 新制度が施行されたのちも、現行の授業料減免の対象と支援規模の水準を維持してください
2. 政府に対して、現行の授業料減免の対象と規模を維持する予算措置を、〇〇大学として求めてください
3. 授業料を値上げしないと表明してください

趣旨説明

　高等教育無償化法案とも言われ、今年成立した大学等修学支援法が、来年施行されます。この制度により、一定の低所得世帯（世帯年収380万円以下）や、いままで授業料減免(家庭収入が一定以下の学生に、授業料の減額、免除を与えるもの。全国では4.5万人が利用)が著しく不十分だった私立大学・専門学校に通う学生への支援が増加する予定です。

　これ自体は大変評価できるものです。しかし、その代償かのように、中所得世帯への支援が削減されるために、現行の授業料減免を受けている学生のうちで2.4万人(在校生1.9万人、新入生0.5万人)が、支援額が減らされたり、支援の対象外となる見込みなのです。現在〇〇大学では、（基準）の学生〇人が授業料減免を受けていますが、新制度により、○人の学生が減免額の縮小、○人が支援打ち切り（合計○人）に見舞われることが予測されます。

　　　国立大生１．９万人負担増　低所得世帯向け新支援　授業料最大数十万円(東京新聞 9月20日　夕刊）

　これは、現行の減免を受けている学生の生活や人生設計を大きく狂わせるものであり、新入生の期待も裏切るものでもあって、決して容認されるべきことではありません。

　確かに、低所得者支援の重点化や私大生への支援は不可欠です。しかし、私たちが行った学費・奨学金に関する実態調査で寄せられた声は、たとえ収入が一定以上の世帯の学生でも、経済的な支援が必要だと示しています。

　　　「（その大学で集めた実態調査の声）」（世帯収入〇〇～〇〇万円）

　　　「（その大学で集めた実態調査の声）」（世帯収入〇〇～〇〇万円）

　加えて、東工大、東京藝術大、千葉大、一橋大と、国立大学では学費値上げの動きが進んでいます。授業料減免の縮減と学費値上げが重なれば、さらに多くの学生に多大な影響を与えることとなります。〇〇大学には、この流れに乗らないことを表明して、値上げの動きを抑制する役割が求められます。

　以上の点を踏まえ、私たちは、授業料減免の縮小と学費値上げという、学生の実態を反映しない流れに対し、〇〇大学が先頭に立って、反対の意思を明らかにしていくことを求めます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名（必須） | 学部等(必須) | 学長への一言（任意） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

署名取扱団体：高等教育無償化プロジェクトFREE〇〇（取扱責任者・〇〇（○学部○年））　連絡先：〇〇＠gmail.com

　　　　　　　個人情報は厳重に管理し、総長宛の署名提出以外には使用しません。